

聖書にあらわされている『神のみこころ』と 御霊によって示される『神のみこころ』

1. 書かれた御ことばは生きた神のことば（イエス）を啓示している

ヘブル 1:1-2

神は昔、預言者たちによって、多くの部分に分け、多くの方法で先祖たちに語られましたが、この終わりの時には、御子にあって私たちに語られました。神は御子を万物の相続者と定め、御子によって世界を造られました。

2. 知識のことばと知恵のことば

1 コリント 12:7-8

皆の益となるために、一人ひとりに御霊の現れが与えられているのです。ある人には御霊を通して知恵のことばが、ある人には同じ御霊によって知識のことばが与えられています。

① 知識のことば

② 知恵のことば

3. さまざまな啓示のタイプ

① 思いや霊で何かの印象を受ける、何かを認知する

使徒の働き 14:9-10

彼はパウロの話すことに耳を傾けていた。パウロは彼をじっと見つめ、癒やされるにふさわしい信仰があるのを見て、大声で「自分の足で、まっすぐに立ちなさい」と言った。すると彼は飛び上がり、歩き出した。

② 心の目で見ると穏やかな幻

エペソ 1:18-19

また、あなたがたの心の目がはっきり見えるようになって、神の召しにより与えられる望みがどのようなものか、聖徒たちが受け継ぐものがどれほど栄光に富んだものか、また、神の大能の力の働きによって私たち信じる者に働く神のすぐれた力が、どれほど偉大なものであるかを、知ることができますように。

③ 霊の耳で聞くかすかな細い声

Ⅰ列王記 19:11-12

主は言われた。「外に出て、山の上で主の前に立て。」するとそのとき、主が通り過ぎた。主の前で激しい大風が山々を裂き、岩々を砕いた。しかし、風の中に主はおられなかった。風の後に地震が起こったが、地震の中にも主はおられなかった。地震の後に火があったが、火の中にも主はおられなかった。しかし火の後に、かすかな細い声があった。

4. 御雲は幻を通して語られる

使徒の働き 16:9-10

その夜、パウロは幻を見た。一人のマケドニア人が立って、「マケドニアに渡って来て、私たちを助けてください」と懇願するのであった。パウロがこの幻を見たとき、私たちはただちにマケドニアに渡ることにした。彼らに福音を宣べ伝えるために、神が私たちを召しておられるのだと確信したからである。

① 一瞬のうちに御霊によって見せられる幻

② 穏やかでありながら強い印象をもつ「内なる幻」

③ オープンビジョン

④ 夢心地で見る幻

5. 私たちの良心は御霊によってあかししている

ローマ 9:1

私はキリストにあって真実を語り、偽りを言いません。私の良心も、聖霊によって私に對し証ししていますが、

6. 預言を通して語られる

Ⅰコリント 14:1

愛を追い求めなさい。また、御霊の賜物、特に預言することを熱心に求めなさい。

預言の3つの益

- 慰める** 「心を落ち着かせる。安心させる。元気づける。苦痛や心配を軽減する。悲嘆や悩みを取り除いていく。思いやりを持って思慮深く接することによってカづけ、望みを与える。」
- 徳を高める** 「教える。益をもたらす。高く上げる。啓蒙する。建て上げる。」
- 勧めをなす** 「説得する。忠告する。注意を促す。誤りに気づかせる。勧める。警告する。」

7. 預言を受けたらどうするのか

Ⅰコリント 13:9

私たちが知るのとは一部分、預言するのも一部分であり、

Ⅰコリント 14:29

預言する者たちも、二人か三人が語り、ほかの者たちはそれを吟味しなさい。

【吟味に役立つ質問】

- その預言のことは、私を励まし、カづけているか？
- その預言のことは聞いて、私の霊は平安を感じているか？
- その預言のことは聖書に基づいているか？
- イエスもその預言をしたらどうか？
- その預言のことは、私を操作したり、コントロールしたりするようなものではないか？
- その預言のことは、今おかれている組織の権威から私を引き離そうとしていないか？
- その預言のことは、他の人とともにチェックすることが許されているか？
- その預言のことは聞いて、自分にはそれを吟味して選択する自由があると思えるか？
- その預言のことは、私にとって確認となるものか？
- その預言のことが警告であるなら、それに対処する方法も示しているか？
- 教会はその預言のことは承認しているか？
- その預言のことは、従順で愛に満ちた霊を生み出しているか？